

文部省選定
優秀映画鑑賞会
推薦

日本映画ペンクラブ推薦

伝統工芸の名匠

にんぎょう



この映画は……

日本ではかなり古い時代から、自然の災厄や原因の不明な病気などを、人形に託して自分たちの身代りにしたり、あるいは神を招来する霊の「依り代」にしたり、時には憎むべき相手の呪詛のための対象物などとしてきました。この映画は、『日本人にとって人形とは何か』を考えるために、縄文時代の土偶に始まり、やがて近世に至り江戸時代の爛熟した文化から生まれた様々な人形を通して、人形が日本人の精神文化における『心のイレモノ』でもあったことを探ります。更に、二人の人間国宝の人形と、その製作の様子なども紹介しながら、時代と人形の変遷にも注目したいと思います。

映画の空間と時間

映画監督 松川八洲雄

動かない人形が、はたしてムービー(動くイメージ=映画)になるのでしょうか。人形は、少なくとも3つの空間と時間を持っています。そのことに気が付いたときこの難問は解けたのです。すなわち、

①展覧会、もしくは応接間の空間と時間。②アトリエ、もしくは仕事場の空間と時間。③その人形のイメージする空間と時間、の3つです。

野口園生さんの人形『雨月』、市橋とし子さんの『草の上』を例にとりましょうか。それぞれが展覧会場におかれているときは、その空間の人々のいる等身大の日常の空間と時間にはかなりません。つまりあたりまえの空間と時間、①の空間と時間です。

さてその中で近寄ってシゲシゲと眺めます。

一体作者はなにをどう思って作ったのかしら……。



にぎょうは、遠く縄文時代の土偶に始まる(山梨・釈迦堂遺跡博物館)



天児 (宝鏡寺蔵)



孝明天皇が幼い頃、愛翫された御所人形 (宝鏡寺蔵)

その時人は知らず知らずに野口園生さんや市橋とし子さんの仕事場やイメージを模索する頭の中に入っているわけです。すなわち、②の仕事場の空間と時間の世界にいることになります。

そうしてあらためて人形を見ると、もはや小さな人形は消え失せ、かわりに音もなく降る雨の夜に『雨月』を探す女が見え、あるいはひろびろとした『草の上』で、手足をいっぱい伸ばして遠くを見つめる少女の姿が見えます。③の空間と時間です。

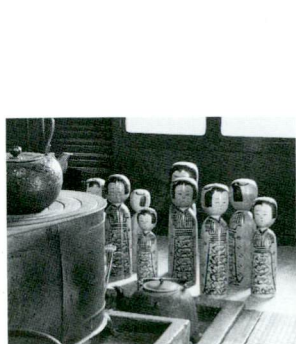
人形を見る、というとき、実は私たちはこの3つの空間と時間を行き来していろいろなものを思ったり、感動したり、つまらないなと立ち去ったりしているのです。すなわち空間や時間の旅、スペース・トリップをしているというわけです。一見動かない人形の空間と時間を並べる。すると薄い細胞膜を通して隣あわせた空間と時間のあいだにそれぞれの空間と時間の濃度の違いから運動がおり、こころの動きが共振し、そうして映画の始まりから終わりへとうねりが流れます。ムソルグスキーの「展覧会の絵」は音楽での試みであり、ピカソのキュービズムは絵画での試みですが、実は人形の映画にかぎらず映画つくるときも空間や時間について考えなければならない、とぼくはずっと思い続けているのですが……。



雑雛（岩槻・人形歴史館蔵）



雛人形を作る石川潤平さん（岩槻市）



小椋久太郎さん作のこけし



製作する市橋とし子さん



研修会で指導する野口園生さん



「師走」野口園生作



「雨月」野口園生作



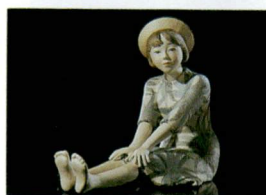
「日々安穩」野口園生作



「知秋」市橋とし子作



「無想」市橋とし子作



「草の上」市橋とし子作

作品名：シリーズ〈伝統工芸の名匠〉

「にんぎょう」(35mm/カラー34分)

企画：財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

製作：株式会社 英映画社

監 修・北村哲郎

製作スタッフ：

製 作・宮下英一

脚本演出・松川八州雄

撮 影・小林 治

照 明・前田基男

音 楽・間宮芳生

ナレーター・花形恵子

演出助手・日向寺太郎

撮影助手・長井和久

彦坂宣明

中村 元

ネガ整理・川岸喜美枝

録 音・東京テレビセンター

現 像・IMAGICA

協 力

野口 園生 [衣裳人形] (重要無形文化財保持者)

市橋とし子 [桐塑人形] (重要無形文化財保持者)

文 化 庁 石川潤平

東京国立博物館 小椋久太郎

国立文楽劇場 桐竹一暢

東京都埋蔵文化財センター 大藤晶子

山梨 釈迦堂遺跡博物館 大森 邦

和歌山 淡島神社 音羽菊七

青森 恐 山 神成 澤

弘前 久 渡 寺 上林アイ子

埼玉 笛吹人形記念美術館 後藤 静夫

岩槻 人形歴史館 田中秀代

京都 宝 鏡 寺 宮本又左衛門

渡部直哉

表紙写真／鶴岡市・渡部家蔵

Pola Foundation for the Promotion of Traditional Japanese Culture

財団法人 **ポーラ伝統文化振興財団**

〒104 東京都中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル内 TEL.03(3561)7408 FAX.03(3562)6298